

千葉ロッテマリーンズ成田後援会旗杯少年野球大会特別規則

- ベンチに入れる人員は、登録されたチーム代表者(私服)及び監督(背番号30)が各1名。コーチ(背番号28、29)及びスコアラー(私服)1名の5名以内。主将(背番号10)及び選手(0~27番)が11名以上20名以内とし、背番号(規定の寸法)は必ず付けなければならない。なお、選手介護要員として女性1名のベンチ入りを許可する。
※連合チームの参加については、「北総地区少年野球大会 特別規則」を適用する。
※その他の理由により連合チームとなる場合は、あらかじめ事務局に相談すること。
- 同一チームの各選手(監督、コーチ含む)はユニホーム、帽子、ストッキング、アンダーシャツが同色・同型でなければならない。ユニホームを着用していない者は、練習中でもグラウンドに入る事は出来ない。しかし、審判員が認めた場合は除く。
- スパイクは、指導者、選手全員同色(基本色)同型が望ましい。(選手は金属型スパイクの着用禁止)
- 打者、走者、次打者、ランナーコーチは、両側にイヤラップが付いたヘルメットを必ず着用すること。金属バットはJSBBのマークが付いた公認のものに限る。
- 捕手は、ヘルメット、マスク(一体型不可)レガース、プロテクター、ファールカップ(男子のみ)を必ず着用すること。
- シートノックは5分以内とする。
- 試合は7回で勝敗を争う。同点の場合は、直ちに『特別延長戦』を行う。
(決勝戦は『特別延長戦』にはならず、更に2回戦の延長)尚、試合時間が1時間30分に達したら、新しい回に入らず、その時点の得点を持って勝敗を決する。
同点の場合は、同様に特別延長戦を行う。
- 『特別延長戦』は継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者、2塁、3塁走者を順次前の打者とし一死満塁から始める事とする。三死まで行い、各イニングで得点の多いチームの勝ちとする。
出場選手の交代は認める。尚、特別延長戦は最高2回戦までとし、勝敗が決しない場合は抽選で決する。
- コールドゲームは、3回12点、4回10点、5回以降7点差以上ついた時に適用する。(決勝戦は除く)
- 日没、降雨によるコールドゲームは、4回終了後に適用。4回終了前の場合はノーゲームとし再試合とする。
- 投手の投球回数制限は無しとする。
- コーターシーランナー(臨時代走)を認める。
- ベンチは組み合わせ番号の若い番号を1塁側とし、先攻、後攻はトス(抽選)とする。
- 抗議権のある者は、監督(ファールライン以内)及び当該プレーヤーとする。
- 監督が投手の所へ行く回数の制限は公認野球規則8.06を採用する。尚、監督(コーチは不可)が投手のもとへ行く場合は、マウンド迄の往復は駆け足を励行する。
- 控え審判制を採用する。(4.19注 アマチュア野球内規6)
- メンバー表の提出は、大会本部へ試合開始40分前に監督、主将が3部持参(放送する場合は1部追加)してトスと球場等の諸注意を確認する。
- 理由なく試合開始時間(15分前)迄に会場本部に到着していない場合は試合放棄したものとする。
- 本大会特別規則を除く他は、その年度の『公認野球規則』を適用する。
- 女子チームの構成学年は中学1年生を認める。
- チーム全員がスポーツ安全保険等の傷害保険に加入していること